

事業所名

Space Kids 沖縄 (第1教室・あさがお)

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

1日

法人（事業所）理念		・スペースキッズ沖縄の理念は、子どもたちから「その日、いち日、僕は、私は幸せだったよ」との言葉をもらうことを目標とし、児童と保護者の「願いと希望」の実現に向けて職員一丸となって取り組むことです。					
支援方針		<p>・建物の1階は、低学年以下、2階は高学年以上で、教室が分かれており、それぞれの学齢に合わせた療育活動を行います。一人ひとり違う、現在の状態から、願う状態にするため、「個別支援計画書」に沿った方針に照らし合わせ、成長に違いが作れるようベストを尽くします。</p> <p>【あさがお ～安心・成長・思いやり～】</p> <p>・安心安全：信頼できる環境づくり/愛情：個性を尊重し、温かく支える/才能：得意を伸ばし、挑戦を応援/多様性：違いを認め、共に学ぶ/頑張る：努力を認め、挑戦を後押し</p> <p>・我慢：社会性と乗り越える力を育む/学び：興味を引き出し、学ぶ習慣を支援/思いやり：助け合い、感謝を伝える/応援：子どもも保護者も共に支える</p> <p>*あさがおは、すべての人の成長を応援します。</p>					
営業時間		10時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>*目的：基本的な生活習慣を身につけ、自己管理能力を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事・栄養管理：食具の使い方、食事マナー、偏食改善</li> <li>・排泄の自立：トイレトレーニング、衣服の上げ下げ、手洗い習慣</li> <li>・衣服の着脱・身だしなみ：衣服選び、ボタンやファスナー練習</li> <li>・清潔習慣：手洗い・うがい、歯磨き指導、身だしなみ習慣化</li> </ul> <p>◆ 支援のまとめ：生活の自立を促し、健康で快適な日常を送れるよう支援する。</p>					
	運動・感覚	<p>*目的：基本的な運動能力や感覚統合の発達を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粗大運動：バランス遊び、ジャンプ運動、障害物競走</li> <li>・微細運動：折り紙、粘土遊び、ハサミやのりを使った作業</li> <li>・感覚統合：触覚・視覚・聴覚刺激、リズム遊び</li> <li>・姿勢・体幹強化：バランスボール、スクーターボード活用</li> </ul> <p>◆ 支援のまとめ：運動能力と感覚統合を高め、体の動かし方をスムーズにする。</p>					
	認知・行動	<p>*目的：思考力や判断力を伸ばし、適切な行動を習慣化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶・注意力向上：神経衰弱、マッチングゲーム</li> <li>・ルール理解：すごろく、カードゲーム、順番を守る遊び</li> <li>・感情コントロール：表情カード、深呼吸、ストレス対処法</li> <li>・問題解決能力育成：「もし～だったら？」の思考トレーニング</li> </ul> <p>◆ 支援のまとめ：状況を理解し適切な判断ができるように支援する。</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>*目的：言葉の理解と適切な表現力を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙力強化：絵カード、擬音語・擬態語の活用</li> <li>・文章の組み立て：順序を意識した言葉の練習、質問応答</li> <li>・会話のキャッチボール：あいさつ練習、絵本の要約</li> <li>・集団でのやり取り：ごっこ遊び、順番を守る練習</li> </ul> <p>◆ 支援のまとめ：言葉の発達を促し、他者と円滑なコミュニケーションが取れるようにする。</p>					

	<p>人間関係 社会性</p>	<p>*目的：他者との関わり方を学び、集団生活に適応する力をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関係構築：名前を呼び合う、良いところ探し</li> <li>・協力する体験：2人1組の協力遊び、共同制作</li> <li>・ルールのある遊び：椅子取りゲーム、仲間外れ防止の遊び</li> </ul> <p>◆ 支援のまとめ：人間関係を円滑にし、集団の中で適応できる力を養う。</p>	
	<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の育児相談、ペアレントトレーニング、きょうだい児の負担軽減支援を実施。さらに、学校・福祉サービス・相談機関と連携し、家庭と地域全体で子どもの成長を支えます。</li> <li>・保護者向け相談：子どもの発達や学習、生活面のアドバイス</li> <li>・進学・支援環境の検討：学校・支援機関との連携</li> <li>・家庭でのサポート方法の共有：子どもの成長に合わせた接し方</li> <li>・子どもが安心して次のステップへ進めるよう、家族とともに支援を行います。</li> </ul>	<p>*移行支援は、入園・入学・進級後の生活がスムーズに進むようサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■環境の変化に向けた準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園・保育園から小学校への移行を支援</li> <li>・小学校低学年の学校生活への適応サポート</li> </ul> </li> <li>■生活・学習支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間管理の習慣づけ</li> <li>・通園・通学の自立サポート</li> <li>・基礎学習の定着</li> </ul> </li> <li>■社会性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団生活への適応練習</li> <li>・公共施設の利用体験</li> </ul> </li> <li>■保護者・学校との連携をします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学や支援環境の検討</li> <li>・子どもの発達状況に応じた支援をします。</li> </ul> </li> </ul> <p>◆ 安心して次のステップへ進めるよう、一人ひとりに合ったサポートを提供します。</p>
	<p>地域支援・地域連携</p>	<p>*子どもの社会参加を促し、地域全体で支える仕組みを構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・福祉・医療機関と連携し、学習・生活・発達支援を強化します。</li> <li>・地域交流を通じ、イベント参加や公共施設での体験活動を実施します。</li> <li>・防災・安全対策として避難訓練や安全マップ作成を推進します。</li> <li>・地域資源の活用で移動支援や就労支援につなげます。</li> <li>・地域と協力し、子どもの自立と社会参加を支援します。</li> </ul>	<p>*職員の専門性を高め、質の高い支援を提供するための取り組みを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修・勉強会：障害特性、支援技法、法改正対応の研修を定期開催する。</li> <li>・OJT・実践指導：児発管による実践指導、ケースカンファレンスの実施。</li> <li>・評価・フィードバック：代表による定期的な面談や業務評価でスキルアップ支援をします。</li> <li>・チーム連携強化：職員間の情報共有を促進し、支援の質を均一化。</li> <li>・外部機関との連携：専門家の講師招聘、他施設との交流研修を実施。</li> <li>・職員の成長を支え、より質の高い支援を提供できる体制を構築します。</li> </ul>

主な行事等

■社内研修（年9回）

- ・「救急対応」「障害者虐待防止」「コンプライアンス・BCP」「5領域」「遊び」など、基礎から実践まで段階的に実施します。
- ・社内大会（7月・1月）＊会社全体の半年間の取り組みを、各事業部ごとに発表します。
- ・避難訓練（年4回）
- ・部分訓練（6月・12月）、総合訓練（9月・3月）で実施します。
- ・消防・避難器具点検（5月・10月）
- ・ケース会議（年4回）4月・7月・10月・1月に開催します。

■保護者会・自己評価

- ・保護者会（5月・11月）
- ・自己評価（2月実施、4月公表）
- ・地域清掃（年3回）5月（でいご公園）、6月（北名城ビーチ・自治会連携）、11月（喜屋武公園）

■イベント

- ・夏祭り（8月）、クリスマス（12月）
- ・次年度計画（3月）

\*職員・保護者の意見を反映して作成します。